

千葉大学環境リモートセンシング研究センター共同利用研究集会

「衛星観測を最大限に活用した食糧収量推定の可能性および問題点」に関する
ワークショップ

[趣旨]

地球衛星観測の高度化に伴い、従来型の光学センサによる植生モニタリングに
基づく食糧収量推定より一歩進んだ収量推定の可能性がでてきている。本 WS
では、収量予測に関連するモデリング、衛星観測計画等について話題提供およ
び情報共有を行い、新たな手法による食糧収量推定の可能性、および問題点に
ついて、知見を整理したい。

日時：2012年09月03日（月）～04日（火）

場所：千葉大学環境リモートセンシング研究センター 共用棟 1F 講義室

プログラム

2012/09/03

13:30-13:50 WS の趣旨説明および自己紹介

13:50-14:10 「食糧安全保障パッケージ」について

（樋口 篤志 千葉大 CEReS）

第1部 モデリング

14:10-14:50 水文・灌漑等陸面過程モデリング

（田中 賢治 京都大学 防災研）

14:50-15:30 作物収量モデリング

（中川 博視 中央農業総合研究センター）

15:30-16:10 大気化学モデリング

（須藤 健悟 名大 環境学研究科）

16:10-16:30 休憩

第2部 衛星観測（その1）

16:30-17:10 GSMaP および GPM の現状

（久保田拓志 JAXA/EORC）

17:30-懇親会

2012/09/04（火）

第2部 衛星観測（その2）

10:00-10:40 静止気象衛星データを用いた短波放射量推定

(竹中 栄晶 東大 AORI)

10:40-11:20 次世代静止気象衛星「ひまわり 8 号」の概要およびその応用について

(國松 洋 JMA/MSC)

11:20-12:00 第 1 期気候変動観測衛星 GCOM-C1 による陸域観測

(堀 雅浩 JAXA/EORC)

12:00-13:30 昼食

第 2 部 衛星観測 (その 3)

13:30-14:10 GOSAT-2 について

(松永 恒雄 NIES)

14:10-14:50 陸域衛星リモセン観測の高精度化を目的とした **ground truth** による普遍性や特異性検証及び、それらを基にした衛星リモセン観測へのフィードバック

(永井 信 JAMSTEC)

14:50-15:10 休憩

15:10-16:30 総合討論

[補足]

本 WS は CEReS 共同利用研究集会助成を受けています。そのため、本企画の趣旨に興味を示された大学院生、若手の研究者の参加旅費のサポートをしたいと考えています (ただし、日帰り出張できない距離の方に限らせて頂きます)。旅費のサポートを受けたい方は樋口までお問い合わせ下さい。

本ワークショップの問い合わせ先

樋口篤志 : e-mail: higu@faculty.chiba-u.jp